

近畿建設リサイクル表彰	会 長 賞
受 賞 者	西松建設株式会社 関西支店 常翔梅田出張所 学校法人常翔学園 梅田キャンパス（仮称）新築工事
所 在 地	大阪市 中央区
受 賞 テーマ	混合廃棄物ゼロへの挑戦 ～「?ボックス」の導入～

【取組概要】

学校法人常翔学園 OIT 梅田タワー（学校校舎）新築工事において、新築工事から発生する廃棄物の分別を徹底することで、再資源化を促進させるとともに、当工事に取り組んだ分別の仕組みが西松建設の新築工事における標準となりました。

①現場分別徹底のための工夫

分別品目を 11 分別と細分化し、工程ごとに作業員が入れ替わる建築現場において、分別を徹底するため、①作業員へ入場前に分別品目を通知、②新規入場者に対して現場分別の説明、③「？」ボックスを導入し、職長会が「？」ボックス内を分別、④必要に応じて再資源化施設職員による分別品目の説明会の開催、⑤「？」ボックスに入っていたものの分別先の徹底、⑥週 2 回の職長会によるパトロールの実施といった仕組みを構築し、最終埋立て処分率 1 % を達成しました。

職長会では「？」ボックスに入ったものの分別先を明確にすることで、最終的に「？」ボックスに収められる品目はなくなりました。また、職長が自ら分別を行うことで、職員に分別意識が定着し、通常混合廃棄物として搬出されるものが品目ごとに分別され、コスト削減にも繋がりました。

【評価】

分別品目の細分化に加え、「？」ボックスを導入する工夫をし、現場分別の仕組みを構築し、自社の新築工事における分別標準として全国に展開したことが特に評価できる。



活動の様子